

令和7年度 県立試験研究機関の研究テーマ外部評価

●研究テーマ外部評価結果一覧

試験研究機関名	開催日	評価の種類	研究テーマ名	研究期間	評価
環境保健研究センター	令和7年9月3日	事前	暑熱環境に適応した児童用帽子の開発（伝統品の再評価及び応用）	令和8年度から令和10年度まで	B
	令和7年10月1日	事前	次世代シーケンサーを用いた分子疫学解析方法の検討	令和8年度から令和10年度まで	A
産業技術センター	令和7年9月10日	事前	表面評価に関する分析機器を組み合わせた分析技術の構築	令和8年度から令和9年度まで	A
	令和7年10月6日	事後	切削びびりを抑制するための工具開発と解析評価技術の構築	平成30年度から令和6年度まで	A
		事後	希少糖産業の支援と育成	令和2年度から令和6年度まで	A
農業試験場	令和7年9月2日	事前	水稲増収に向けた革新的栽培体系の開発	令和8年度から令和10年度まで	A
	令和7年10月15日	中間	次世代の香川型施設園芸プラットフォームの開発	令和5年度から令和9年度まで	A
畜産試験場	令和7年9月26日	事後	高品質型オリーブ豚の造成	令和3年度から令和6年度まで	A
	令和7年10月17日	事後	オリーブ地鶏生産システム強化対策試験	令和4年度から令和6年度まで	A
水産試験場・赤潮研究所	令和7年8月28日	中間	ナルトピエイによる食害等に関する研究	令和5年度から令和7年度まで	A
	令和7年8月29日	事前	デジタル技術による赤潮等監視体制高度化事業	令和7年度から令和9年度まで	A
		事前	コウライアカシタビラメ種苗生産技術開発	令和7年度から令和9年度まで	A

【評価基準】

事前評価 A：計画のとおり研究を実施するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して実施するのが適当 C：実施する必要はない
 中間評価 A：計画のとおり継続するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して継続するのが適当 C：研究を中止する
 事後評価 A：期待どおりの成果が得られている B：一定の成果が得られている C：成果が得られていない
 追跡評価 A：研究成果が期待どおり活用されている B：研究成果は一定の活用がされている C：研究成果が活用されていない

●研究テーマに関する問合せ先

研究機関名	氏名	役職	連絡先
環境保健研究センター	西岡	次長	087-825-0400
産業技術センター	横田	次長	087-881-3175
農業試験場	藤本	副場長	087-814-7312
畜産試験場	川田	次長	087-898-1511
水産試験場・赤潮研究所	中山	課長	087-843-6511